



Hewlett Packard
Enterprise

SUSE Linux 12.4 Supplement for Service Pack for ProLiant 2018.11.0 リリースノ ート

発行時期
2019 年 1 月
初期バージョン

法律および通知情報

© Copyright 2019 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ドキュメント履歴:

リリース済み	説明
2019年1月	初期バージョン

目次

概要	4
アップデートの推奨事項	4
整合性	4
変更の概要	5
重要な注意	5
リリースの概要	5
互換性	5
サポート	5
前提条件	6
Linux 上での SUM の実行	6
展開の手順	6
コンポーネントリリースノート	7

概要

Service Pack for ProLiant (SPP) サプリメントは、展開ツールとして SUM を含むソフトウェアおよび/またはファームウェアコンポーネントを含めたバンドルです。SPP のコンポーネントと連動していない新しいオペレーティングシステムのアップデートまたは SPP に含まれていない機能をサポートすることが可能です。サプリメントに含まれるソフトウェアおよびファームウェアは、通常の SPP のリリースサイクル外で必要とされる機能のサポートを提供します。サプリメントは、必要なときに HP がドライバーのサポートを提供することができるため、カスタマーは完全な SPP が利用可能になるのを待つ必要がなくなります。

各 SPP サプリメントのバージョン番号は、対応する SPP のバージョンと一致しています。サプリメントのリリースノートは、利用可能で、バンドル内のコンポーネントに関する情報が含まれます。サプリメントのコンテンツが Linux コンポーネントを含む場合、コンポーネントは Linux Software Delivery Repository (SDR) でも利用可能です。いったんリリースされたら、SPP サプリメントのコンテンツの機能が次の利用可能な SPP に含まれます。

SPP に関連付けられたホットフィックスは、SPP サプリメントでも動作します。ホットフィックスが、サプリメントでサポートされているオペレーティングシステムをサポートしているかどうかを確認する必要があります。SPP ホットフィックスの詳細については、[SPP Information Library ページ](#)にある SPP のリリースノートを参照してください。

このサプリメントは、SUSE Linux 12.4 Supplement for Service Pack for ProLiant 2018.11.0 で、HPE ProLiant 製品に SUSE LINUX 12.4 のサポートを提供します。これは SUSE LINUX 12.4 専用のリリースで、SPP 2018.11.0 で動作するために設計されました。

SUSE LINUX 12.4 でサポートされるサーバーについて詳しくは、OS サポートサイト:
<http://www.hpe.com/servers/ossupport> を参照してください。

製品名	コメント
SUSE Linux 12.4 Supplement for Service Pack for ProLiant 2018.11.0	ソフトウェアコンポーネントを含むバンドル ファイル名: supspp-2018.11.sles12.4.en.tar.gz

アップデートの推奨事項

オプション - ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

整合性

Service Pack for ProLiant 2018.11.0

変更の概要

重要な注意

この文章全体で使用されているサブリメント、Service Pack for ProLiant または SPP の用語は、明示的に述べない限り、概要セクションの表の配布物のすべてを示しています。

⚠ 任意のコンポーネントをシステムにインストールする前に、インストール手順で問題が発生した場合にシステムの最新のバックアップが利用できることを確認してください。

リリースの概要

SUSE Linux 12.4 Supplement for Service Pack for ProLiant のリリースの概要は以下のとおりです。

SUSE Linux 12.4 のサポートが追加されました。

このサブリメントに含まれるドライバーの代わりに、SUSE LINUX 12.4 ディストリビューションのドライバーを使用することも選択できます。ディストリビューションの最初のリリースのドライバーは、この時点では HPE の追加機能のすべてが含まれていないことがあります。これらの問題は将来のリリースで解決されます。

互換性

このサブリメントは、SPP 2018.11.0 に対応しています。

HP SUM およびこの Service Pack for ProLiant (SPP) のサブリメントで提供されるすべてのコンポーネントは、一緒にテストされ、Service Pack for ProLiant 内の他のコンポーネントの依存関係を満たしています。

以下の製品に同梱されているソフトウェアとファームウェアコンポーネントを使用しているシステムは、簡単にこの SPP のコンポーネントに移行することができますようになります。

製品	バージョン
Service Pack for ProLiant	2018.11.0

サポート

HPE は、各 SPP バージョンを 12 か月間サポートします。ユーザーは、SPP の以前のバージョンが 12 か月のサポート期間内にある限り、以前のバージョンからこのバージョンに更新することを選択することが可能です。これにより、ユーザーが 12 か月のサポート期間内に中間リリースをスキップして、SPP を直

接更新することができます。この SPP に移行可能な以前の SPP に含まれるコンポーネントの詳細については、互換性ページの表を参照してください。

このサプリメントのサポート期間は、これに対応する SPP 2018.11.0 のサポート期間に揃えられています。

前提条件

Linux 上での SUM の実行

⚠ インストール処理に失敗したときのために、ターゲットシステムにソフトウェアアップデートをインストールする前に、ターゲットシステムの最新のバックアップがとられていることを確認してください。

Linux オペレーティングシステムのリモートターゲットシステムで SUM を正常に展開するには、以下が利用可能であることが必要です

- libcrypt.so
- libcrypt.so.1
- /usr/lib/libqldsmdm.so
- /usr/lib64/libqldsmdm-x86_64.so
- /lib/cim/libqldsmdm.so
- /usr/lib/libemsdmsdm.so
- /usr/lib64/libemsdmsdm.so
- /lib/cim/libemsdmsdm.so
- /usr/lib/bfahbaapi.so
- /usr/lib64/bfahbaapi.so
- /lib/cim/bfahbaapi.so
- linux-vdso.so.1
- /lib64/libcrypt.so.1
- /lib64/libpthread.so.0
- /lib64/libz.so.1
- /lib64/libdl.so.2
- /lib64/librt.so.1
- /usr/lib64/libstdc++.so.6
- /lib64/libm.so.6
- /lib64/libgcc_s.so.1
- /lib64/libc.so.6
- /lib64/ld-linux-x86-64.so.2

展開の手順

このサブプリメントは、オペレーティングシステムのインストール後に使用するよう設計されています。これにより、ドライバーの更新と、HPE ユーティリティ(ヘルスや iLO ドライバーなど)およびエージェント(サーバー、NIC、およびストレージ)のインストールが可能になります。

サポートされている Linux オペレーティングシステム上で SPP サプリメントおよびそれに対応する SPP を使用することにより、標準の Linux インストールツール(YUM/Zypper)または HPE 管理ツール (SUM/OneView)のいずれかを選択して以下のことを実行できます。

- サプリメントおよび SPP で提供されたソフトウェアおよびファームウェアを使用します。
- SPP に提供されるファームウェアを使用したり、Software Delivery Repository <http://downloads.linux.hpe.com/SDR> からソフトウェアを入手したりします。
- SPP で提供されるファームウェアおよびソフトウェアユーティリティと、オペレーティングシステムのディストリビューションから入手可能なドライバーを使用します。

コンポーネントは所定の展開に応じて、SUM カスタムベースラインを使用して単一の ISO に組み合わせたり、別のパッケージとして適用したりできます。

コンポーネントリリースノート

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 Supplement Bundle for Service Pack for ProLiant v2018.11.0 用のリリースノート

[ソフトウェア - Lights-Out マネジメント](#)

[ソフトウェア - マネジメント](#)

[ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル HBA59082](#)

[ソフトウェア - システムマネジメント](#)

ソフトウェア - Lights-Out マネジメント

[先頭](#)

HP Lights-Out オンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.4.0-0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-5.4.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.4.0-0.x86_64.rpm

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3 ファームウェアバージョン 1.00 以降
- Integrated Lights-Out 4 ファームウェアバージョン 1.00 以降
- Integrated Lights-Out 5 ファームウェアバージョン 1.20 以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5 の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x 以降が必要です。
openssl を手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に /usr/bin/openssl を再配置している場合は、PATH 環境変数を設定し、正しい意図した openssl に HPONCFG をダイレクトする必要があります。

修正

32 ビットと 64 ビットの openssl がインストールされている場合、HPONCFG が openssl ライブラリを検出できないという問題を修正しました。

ソフトウェア - マネジメント

[先頭](#)

HPE SDK Python モジュール

バージョン: 2.3.1 (オプション)

ファイル名: python-iloest-library-2.3.1.zip

改良点:

- 重要なキャッシュデータをエンコード/デコードを設定する機能が追加されました。
- 増加した検証およびロード時間。

ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル HBA

[先頭](#)

Fibreutils for HPE Storage ファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux (x86_64)

バージョン: 3.3-5 (b) (オプション)

ファイル名: fibreutils-3.3-5.x86_64.compsig;fibreutils 3.3 5.x86_64.rpm

前提条件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります: glibc libgcc libstdc++ bash perl

改良点:

下記のコードがアップデートされました:

- 分割のため、Emulex CNA ドライバーディスプレイ
- Optrom バージョンディスプレイ

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 (c) (オプション)

ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig;hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意:

3PAR Smart SAN ユーザーガイドを取得するには、以下のリンクから Storage Information Library を参照してください：

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、HP 3PAR Storage が下記から選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にするには、HPE が提供するファイバーチャネルドライバーをこのイネーブルメントキットコンポーネントの前にインストールする必要があります。このドライバーは、HPE.com の Web サイト www.hpe.com から入手できます。

Linux FC ドライバーキット for HPE Branded Emulex FC HBA およびメザニンカード、バージョン 11.1.183.21、for RedHat 6、RedHat 7、Novell SUSE 11 および SUSE 12

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

改良点:

SuSE Linux Enterprise Server 15 のサポートを追加しました

バージョン 1.0.0.0-4 (c)にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次の Emulex ファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Port ファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Port ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Port ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605 メザニン
- HP SN1100E 16Gb Dual Port ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Port ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE QLogic ファイバーチャネルイネーブルメントキット for Linux

バージョン: 6.0.0.0-4 (e) (**推奨**)

ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-4.noarch.compsig; HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-4.noarch.rpm

重要な注意:

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

改良点:

バージョン 6.0.0.0-4 にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gb FC:

- HP 81Q PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Port ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Port ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット for Linux

バージョン: 3.3-3 (c) (オプション)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意:

3PAR Smart SAN ユーザーガイドを取得するには、以下のリンクから Storage Information Library を参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が下記から選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FC ドライバーキット for HPE Qlogic CNA、HBA およびメザニン HBA、バージョン 8.07.00.42.06.0-k1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA および CNA バージョン 8.07.00.42.07.0-k1
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FC ドライバーキット for HPE Qlogic CNA、HBA およびメザニン HBA、バージョン 8.07.00.42.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA および CNA バージョン 8.07.00.42.12.0-k1

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのインネーブルメントキットファイルを取得します。

改良点:

SuSE Linux Enterprise Server 15 のサポートを追加しました

バージョン 3.3-3(c)にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下の HPE アダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Port ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Port ファイバーチャネルホストバスアダプター

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 1.3.2 (オプション)

ファイル名: amsd-1.3.2-3016.4.sles12.x86_64.compsig; amsd-1.3.2-3016.4.sles12.x86_64.rpm

前提条件

- amsd は、HPE Gen10 サーバー上のみでサポートされています。
- amsd は、SNMP サポートを提供している iLO 5 サービスに情報を提供します。
- iLO 5 上で SNMP PASS-THRU を無効にし、SNMP が iLO 5 上で構成されている必要があります。これらの設定を変更した後に、iLO 5 のリセットが必要になることがあります。
- 要件:
 - 最低限必要な iLO 5 ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小 OS バージョン = SuSE Linux Enterprise Server 12 SP2

修正

以下を修正しました。

- ファイバーチャネルおよびイベントのトラップが iLO IML に正しく記録されるようになりました
- ahslog は、ストレージボリュームの使用率を記録するときに segfault は発生しません

Linux 64-bit 用 HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA)

バージョン: 3.94.0.0 (オプション)

ファイル名: HPE_Linux_64_readme.txt; MRStorageAdministrator-003.094.000.000-00.x86_64.rpm;
MRStorageAdministrator-003.094.000.000-00.x86_64_part1.compsig; MRStorageAdministrator-
003.094.000.000-00.x86_64_part2.compsig; MRStorageAdministrator-003.094.000.000-
00.x86_64_part3.compsig; MRStorageAdministrator-003.094.000.000-00.x86_64_part4.compsig

重要な注意:

.

前提条件

.

改良点:

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OS のサポートを追加しました。

Linux 64-bit 用 HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) StorCLI

バージョン: 1.24.09 (B) (オプション)

ファイル名: LINUX_Readme.txt; storcli-1.24.09-1.noarch.compsig; storcli-1.24.09-1.noarch.rpm

改良点:

SUSE LINUX Enterprise Server 15 OS のサポートを追加しました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 2.8.2 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.8.2-3017.4.sles12.x86_64.rpm

前提条件

- hp-ams は、HP ProLiant Gen8 および Gen9 サーバーでサポートされています。
- hp-ams は、SNMP サポートを提供している HP iLO 4 サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4 上で SNMP パススルーを無効にして、SNMP が HP iLO 4 上で構成されている必要があります。HP iLO 4 は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
 - 最低限必要な HP iLO 4 ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要な OS バージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- ファイバーチャネルおよびイベントのトラップが iLO IML に正しく記録されるようになりました

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux 64-bit

バージョン: 3.30.14.0 (推奨)

ファイル名: ssacli-3.30-14.0.x86_64.compsig; ssacli-3.30-14.0.x86_64.rpm; ssacli-3.30-14.0.x86_64.txt

重要な注意:

バージョン 2018.06 の SPP を使用してシステム BIOS をアップデートする場合は、HPE Smart Storage Administrator をこの 3.30.13.0 バージョンにアップデートすることを推奨します。バージョン 2018.06 の SPP から BIOS

構成ユーティリティで作成されたアレイは、HPE Smart Storage Administrator の古いバージョンではアクセスできません。

HPE SSACLI は従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存の ACUCLI スクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

改良点:

- 構成済みおよび未構成のドライブに対してドライブライトキャッシュを有効または無効にする機能が追加されました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64-bit

バージョン: 3.30.14.0 (推奨)

ファイル名: ssa-3.30-14.0.x86_64.compsig; ssa-3.30-14.0.x86_64.rpm; ssa-3.30-14.0.x86_64.txt

重要な注意:

バージョン 2018.06 の SPP を使用してシステム BIOS をアップデートする場合は、HPE Smart Storage Administrator をこの 3.30.13.0 バージョンにアップデートすることを推奨します。バージョン 2018.06 の SPP から BIOS 構成ユーティリティで作成されたアレイは、HPE Smart Storage Administrator の古いバージョンではアクセスできません。

HPE SSA は既存の HP アレイコンフィギュレーションユーティリティ、または ACU のデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々な Smart Storage イニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0 および 2.0 の機能は、適切なファームウェア(の使用)により HPE SSA のベースライン機能の一部となりました。

HPE SSA は従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存の ACU スクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

前提条件

HPE Smart Storage Administrator for Linux は、サーバーに HPE System Management Homepage ソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーに HPE System Management Homepage ソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linux をインストールする前に、HPE.com からダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート:HPE SSA (GUI) for Linux は、HPE System Management Homepage を必要とせず、実行することができます。HPE SSA は、Linux 用のローカルアプリケーションモードをサポートするようになりました。HPE System Management Homepage はサポートされていますが、HPE SSA GUI の実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

このコマンドは新しい Firefox ブラウザーウィンドウで HP SSA を開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HP SSA は自動的に終了します。これは、ループバックインターフェイスだけに有効であって、外部ネットワーク接続からは見えません。

改良点:

- 構成済みおよび未構成のドライブに対してドライブライトキャッシュを有効または無効にする機能が追加されました。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64 ビット

バージョン: 3.30.14.0 (推奨)

ファイル名: ssaducli-3.30-14.0.x86_64.compsig; ssaducli-3.30-14.0.x86_64.rpm; ssaducli-3.30-14.0.x86_64.txt

重要な注意:

バージョン 2018.06 の SPP を使用してシステム BIOS をアップデートする場合は、HPE Smart Storage Administrator をこの 3.30.13.0 バージョンにアップデートすることを推奨します。バージョン 2018.06 の SPP から BIOS 構成ユーティリティで作成されたアレイは、HPE Smart Storage Administrator の古いバージョンではアクセスできません。

HPE Smart Storage Administrator の診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLI からのみ利用できます。診断レポートの GUI バージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

改良点:

- 構成済みおよび未構成のドライブに対してドライブライトキャッシュを有効または無効にする機能が追加されました。

HPE SNMP エージェント for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 10.8.0 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.80-2965.22.sles12.x86_64.rpm

前提条件

hp-health および hp-snmp-agents は、x86_64 環境では 32 ビット アプリケーションとして起動します。Linux カーネル 32 ビット互換が有効にされていて(通常 Linux ではデフォルト)、32 ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agents に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

`rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm`

修正

次の項目を修正しました: □ストレージエージェント debuginfo rpm で追加デバッグ情報を有効にしました。

HPE システムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12
バージョン: 10.8.0 (オプション)
ファイル名: hp-health-10.80-1855.22.sles12.x86_64.rpm

前提条件

hp-health および hp-snmp-agents は、x86_64 環境では 32 ビット アプリケーションとして起動します。Linux カーネル 32 ビット互換が有効にされていて(通常 Linux ではデフォルト)、32 ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-health に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-<version>.rpm
```

修正

次の項目を修正しました:

□デバイス情報の取得中、バッファオーバーフローを回避するために、新しい制約を追加しました。

HPE System Management Homepage for Linux (AMD64/EM64T)
バージョン: 7.6.4-3 (推奨)
ファイル名: hpsmh-7.6.4-3.x86_64.rpm

重要な注意:

SMH 7.6.0 以降のバージョンは Gen 8 および Gen 9 サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースは SMH web ページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

Linux OS のユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、“hpsmh”ユーザー(インストール中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- “hpsmh”グループ(インストール中に作成)にユーザーを追加しないでください。

前提条件

SMH ソフトウェアをインストールする前に、RPM が必要なバージョンの Linux ライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーは RPM をインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

改良点:

SUSE Linux Enterprise Server 15 オペレーティングシステムをサポート

– HPE System Management Homepage テンプレート for Linux

バージョン: 10.8.0 (オプション)

ファイル名: hp-smh-templates-10.8.0-1486.2.noarch.rpm

前提条件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPM インストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yum または zypper により使用されているリポジトリにこれらの依存関係が含まれている場合は、インストールツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPM のインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templates に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

改良点:

SUSE Linux Enterprise Server 15 の最初のサポート。

Insight Diagnostics オンライン版 for Linux (x86-64)

バージョン: 10.60.2199 (推奨)

ファイル名: hpdiaags-10.60.2199-2188.linux.x86_64.rpm

重要な注意:

Insight Diagnostics のオンライン版は、Survey ユーティリティ for Windows および Linux と同じ機能を提供し、システム上のハードウェアのテストは行いません。必須ではありませんが、現在の Survey ユーティリティ for Windows および Linux を Insight Diagnostics オンライン版のインストールの前に、アンインストールすることをおすすめします。

前提条件

Insight Diagnostics オンライン版 for Linux には、以下のコンポーネントが必要です。

- System Management Homepage バージョン 7.0.0-12 以降

Insight Diagnostics オンライン版 for Linux の機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- System Health Application、バージョン 9.0.0 以降

SPP を使用するか、HPE サポートセンターから個別にダウンロードして、それらをインストールすることができます。

修正

- オンラインページの XSS の脆弱性
- libsgutils symlink の修正

改良点:

詳しくは、[Service Pack for ProLiant リリースノート](#)を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、[ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#)を参照してください。